



講演をする阿部健
都市建設部長



熱心に聞き入る市民会議のメンバー



▶ ハンセプトを説明する
鈴木泰弘副会長

7月全体会議

7月23日、まちづくりステーション小名浜で、会員約30人が参加し7月全体会議が開かれました。今回は、いわき市の阿部健一都市建設部長を迎えて「地域力を發揮するためのまちづくり」（人口減少、少子高齢化社会と広域行政の中での）という演題で講演を頂きました。

地域（魅力） 力をいかに發揮するか！そのために必要な人・組織の力（小名浜力）+企業支援のあり方や交通対策（地域交通改善に向けた取り組み）などについて北九州市の具体的な事例を交えて、大変有意義な講演でした。その後「市街化調整区域における地区計画制度の運用基準について」の説明もありました。

8月全体へ

8月全体会議

コンセプトは「懐かしくて新しい、亜細亜と出会う港町」

区域に分けた再開発案が至
されました。

うなまちにしていくか意図を出し合いました。中には「24時間営業の病院や託児所」、「すこしやすい気候のPR」、「みりん干しの作り方を教えるお店」「小名浜を楽しんでもらえるしかけづくり」など、たくさんの意見が出ました。

今後も2019年の認定に向けて、さらに話し合いを進める予定です。



▶今夏オープンした縄文の里

小名浜学事始め

寺脇貝塚

10月11日(日)リスパ第2駐車場と汐風竹町通りにて今年も絆まつりを開催します。当日は橋葉マリー主催の新鮮揚げなどを提供する飲食ブースやフリーマーケット約30店、シューイティングゲーム、ペットボトルボーリング、ファームマーズマーケットなどがお店し、大好評浅草人力車が走る予定です。特設ステージでは音楽イベントが企画され、今まで以上に盛り上げようと内容を練っています。



また、昨年好評でした
パトカー や白バイ展示、
プロジェクトエクシヨンマッピングも進行中です。
イベントで使う電気は
廃油を利用した工コ発電車が来ますので、子供達の学習にもつながります。
併せて本町通り芸術祭も開催いたします。ぜひ遊びに来てください。

では「わくわく里山・縄文の里」がオープンしました。安部館長の進める「海を通じて人と地球の未来を考える」環境水族館に新しい柱「21世紀の縄文」が加わりました。縄文時代といえば、今から1万年前、海平面は現在より3メートルほど上回り、平野部は水没、海は谷に入り込み、小名浜の縄文人たちは魚や貝に代表される海の幸に恵まれました。現在、彼らの生活の跡としての貝塚が残っています。三崎公園の「綱取貝塚」、大畑公園の「大畑貝塚」、そして港ヶ丘団地の「冷泉寺」脇の「寺脇貝塚」など。貝塚からは現在のものと同じ形の釣り針（鹿の角）も出ています。



● 海遊祭、いわき踊り、花火大会がスタッフと多くのボランティアの方々の支えで成功裏に終了することが出来ましたこと、実行委員会を代表して衷心より御礼を申し上げます。

また、いわき花火大会全体会を支えて頂いている多くの市民の皆様、各企業や商店街の方々からの長きに亘るご支援にも重ねて御礼を申し上げます。

さして来年、いわき市制 50 周年のメモリアルの大会でできる大会運営を目指してまいりますので、市民各層のご支援をお願い申し上げます。

昨年の反省から正木実行 50 周年の年にもあった市制 50 周年でも天候に恵まれ大いに盛り上がりました。今年の応募作品は力作が多く各審査委員も審査には大変苦労しています。受賞作品は下記期間、展示していますので、ぜひご覧ください。

場所：タウンモールリスピ 1 階
期間：9 月 29 日～10 月 5 日迄

第 62 回 いわき花火大会 フォトコンテスト

今夏最大の祭典、いわき花火大会も天候に恵まれ大いに盛り上がりました。フォトコンテスト応募作品もたくさん集まり例年なく活気をみせております。

現在、各賞への審査が進められています。主な賞は、

グランプリ賞	1 点
特選	2 点
入選	5 点
佳作	10 点

です。

今年の応募作品は力作が多く各審査委員も審査には大変苦労しています。受賞作品は下記期間、展示していますので、ぜひご覧ください。

場所：タウンモールリスピ 1 階
期間：9 月 29 日～10 月 5 日迄

多くのご協賛を頂く各社様、各関係機関を始めボランティアの方々には深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

また、来年はいわき市制

昨年の反省から正木実行 50 周年でも天候に恵まれ大いに盛り上がりました。今年の応募作品は力作が多く各審査委員も審査には大変苦労しています。受賞作品は下記期間、展示していますので、ぜひご覧ください。

場所：タウンモールリスピ 1 階
期間：9 月 29 日～10 月 5 日迄

地球温暖化の影響とささやかれる猛暑も今年はお盆を境に鳴りを潜め、8 月としては異例の涼しさが続いた夏も過ぎ、実りの秋の到来を迎来了。

小名浜港港湾背後地もそ

以前とは姿を大きく変え始めているようです。その姿は、地域のみなさんが将来をイメージした時に望む姿にむかって進んでいるのでしょうか。

声なき声は形にはなりにくいようです。



この地域の変革が進むにつれて、その動きに参加して声を出していくことが大切と思う今日この頃です。



市民会議では随時 FB に活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、友達申請 いいね！ してね！

小名浜まちづくり 市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員を募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんと一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費 個人会員：3,000 円 企業会員：20,000 円 団体会員：12,000 円

お問い合わせ・お申し込みは： いわき市小名浜字本町 11-1 (まちづくりステーション小名浜)

TEL: 52-1275 FAX: 52-1415

<http://www.onahama.jp/> E-mail: info@onahama.jp

この広報物は、小名浜地区行政嘱託員（区長）連合会の御協力により配布しております。



大会会長
火員委
花行
い実
正木好男



花火委員長
八巻義英



海遊祭委員長
柳葉周作



いわきおどり委員長
作山勝広

第 62 回 いわき花火大会がイベントを含め、無事に終えることができました。実行委員長、各委員会の委員長に感想・反省などを伺いました。

いわき花火大会を開催

り、日本初の大型昼夜花火で、いわきの元気を世界へ発信し、50 周年記念にふさわしい花火大会にしていきたいと思つております。引き続き、ご支援ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

ご声援等、大変盛り上がりました。開催期間中、事故や怪我もなく終了することができます。引き続き、大成功的 2 日間になりました。来年も今年の盛大さに負けない海遊祭を目指して参ります。

その陰には関係スタッフ並びにボランティアの方々のゴミ拾い、雑踏警備などの裏方のご協力があつての成功と厚く御礼申し上げます。来年もなにとぞよろしくお願いいたします。

結びになりますが各関係機関、並びに会場沿道の皆様に感謝申し上げます。アトラクションとして、キッズボート・ジェットスキー・バナナボートの体験乗船等へ参加していただき、アクリアマリンパークエリアは、終日大いににぎわいを見せおりました。また、今年初のプログラム「フライボードショーアン」についても、観客の大きな